## 中島地区タウンミーティングでいただいた意見と市の対応

『テーマ:中島地区の活性化について』 平成27年10月25日(日)14:00~

☆	意見の内容	対応可能性と 対応時期	対応策または 不可能な理由等	担当課
1	空き家の借り手や買い手とのマッチングについて、今後どのように取り組んでいくのか。	■可能 □対応済 ■今年度中 □次年度以降 □検討中 □不可能 □その他	忽那諸島9島の空き家活用に向け、島しょ部の空き家情報収集及び発信のほか、移住希望者の相談や受け入れのサポートを行う目的で、「里島空き家バンク」を設置します。  「里島空き家バンク」の運営は、中島在住のNPO法人に委託し、平成27年11月から空き家の実態調査を行い、今年度中に貸し借りや売買が可能な物件の情報を全国に周知するためホームページに公開する予定です。さらに移住希望者からの相談等への対応や現地の案内、物件所有者との引き合わせなど、移住希望者と所有者双方の希望に出来るだけ沿った細やかな応対をすることで、島しょ部の活性化につなげていきたいと考えています。	坂の上の雲まちづくり 担当部長付 渡辺 亮 089-948-6816
2	移住定住までに時間がかかるので、まずは観光に来ていただいて空き家を旅館のように手入れをして貸し出すことはできないか。	<ul><li>□可能</li><li>□対応済</li><li>□今年度中</li><li>□次年度以降</li><li>■検討中</li><li>□不可能</li><li>□その他</li></ul>	松山里島ツーリズム連絡協議会では、島の魅力を活か した体験メニューで、島のファンやリピーターを増やす 取組を行っています。 漁家民泊や農家民泊など、都市にはない魅力を引き出 す「体験型ツーリズム」は全国的にも話題になっており、 空き家の有効活用策の1つであると考えていますので、 「里島空き家バンク」の調査結果を活用しながら、移住 定住も視野に入れて検討します。	坂の上の雲まちづくり 担当部長付 渡辺 亮 089-948-6816

	T			
	移住・定住には、安定した収入	■可 能	現在、松山市では、企業が新規雇用や設備投資を行う	地域経済課
	が見込める勤め先が必要。行政と	■対応済	場合、新設や拡大を支援する奨励金制度を設けています。	上隅 直也
	して考えてほしい。	□今年度中	島しょ部については、企業が立地先として検討しやす	089-948-6549
		□次年度以降	くするため給付要件を緩和しており、平成 25 年度には、	
		□検討中	中島大浦で製造業新設1件について、この制度をご利用	
		□不可能	いただきました。	
		□その他	今後も、企業誘致活動については、島しょ部も含めた	
			提案等を継続して行っていきます。	
			<奨励金制度>	
3			新規雇用 2 名以上・設備投資 3,000 万円以上の企業の	
			新設や拡大を支援する奨励金	
			※島しょ部の場合には新規雇用1名以上・設備投資1,000	
			万円以上と要件を緩和しています。	
			また、本市では、平成 25~27 年度の 3 年間で「次代に	農林水産課
			つながる果樹産地生産力向上支援事業」を実施し、市の	池内 陽一
			推進する果樹などの農業用ハウスや栽培施設の新設整備	089-948-6561
			に対して助成を行い、農産物の高品質・安定生産を推進	
			し農家所得の向上を図っています。	

送 坂の上の雲まちづくり 担当部長付 だ 渡辺 亮 + 000,040,6016
渡辺 亮
+ 000 040 6016
t. 089-948-6816
学習施設課
多 宇都宮 和史
089-948-6831
ス
, X
<u> </u>
星 地域経済課
上隅 直也
<b>C</b>
学 坂の上の雲まちづくり
担当部長付
カ 渡辺 亮
089-948-6816

	中島で実施している事業が住民	■可 能	離島の活性化について、地域の皆さんの意識の共有を	坂の上の雲まちづくり
	に周知できていないので、広く周	□対応済	図るためにも、今後は総代会や各種団体の会合など機会	担当部長付
6	知をしてほしい。	■今年度中	あるごとに市の事業説明を行っていきます。	渡辺 亮
		□次年度以降	また、パンフレットやポスター等を掲示するとともに、	089-948-6816
		□検討中	地元の回覧を利用させていただくなど、広く周知に努め	
		□不可能	ます。	
		□その他		
	移住・定住促進のため島での暮	□可 能	平成 27 年度中に実施する空き家の実態調査の結果を、	坂の上の雲まちづくり
	らし(仕事・住居など)の相談の	□対応済	地区総代会で報告させていただき、その際、地域の方に	担当部長付
	お手伝いに、地元のお世話好きな	□今年度中	移住・定住希望者の相談等をご協力いただくことについ	渡辺 亮
7	方の力を生かす方法を考えてみて	□次年度以降	て、協議させていただきたいと考えています。	089-948-6816
	はどうか。	■検討中		
		□不可能		
		□その他		
	地域おこし協力隊は愛媛県に約	□可 能	平成 27 年 11 月 1 日現在、愛媛県内では今治市や伊予	シティプロモーション
	50名いると聞いたが、成果はある	□対応済	市など 13 の市町が地域おこし協力隊を導入しており、52	推進課
	のか。また松山市には何名いるの	□今年度中	名が地域活性化の活動を行っているとともに、退任した	福田 昌樹
0	カッ?	□次年度以降	隊員が引き続き居住するなどの成果も上がっていると聞	089-948-6707
8		■検討中	いています。	
		□不可能	現在、松山市では、地域おこし協力隊を導入していま	
		□その他	せんが、今後受け入れを希望し、受け入れ態勢などが整	
			った地域があれば、前向きに検討したいと考えています。	

	まずは、島に家族で来てもらっ	□可 能	睦月小学校は現在休校中ですが、今後、学校が再開さ	学習施設課
9	て、知ってもらってから移住・定	□対応済	   れる場合に備えて、教育委員会が施設を管理し続ける必	宇都宮の和史
	住の話になると思う。睦月島には	□今年度中	要があり、他の用途で利用することはできないことにな	089-948-6831
	宿泊できる施設は公民館だけで風	□次年度以降	っています。	
	呂や飲食店がないので、教員住宅	□検討中	また、宿泊施設の整備については、「里島空き家バンク」	坂の上の雲まちづくり
	を宿泊できるようにしてほしい。	□不可能	の活用や「里島ツーリズム」を進めていく中で、漁家民	担当部長付
		■その他	泊や農家民泊の可能性も含め、地域の方と一緒に検討し	渡辺 亮
			たいと考えています。	089-948-6816
	おためし移住施設の入居期間が	■可 能	神浦定住促進住宅は、定住先や就労先を見つけるまで	坂の上の雲まちづくり
	最長1年になっているが、家族で	□対応済	の「仮住まい」としての使い方を想定して、入居期間を	担当部長付
	引っ越してくる場合は準備期間が	□今年度中	最長1年としています。入居後、定住を希望される方に	渡辺 亮
	1年では大変なので、期間につい	■次年度以降	は、今年度設置する「里島空き家バンク」を活用して、	089-948-6816
10	て柔軟な対応をしてほしい。	□検討中	住居を探していただくことになります。	
		□不可能	定住促進住宅と空き家バンクの2つの事業をうまく連	
		□その他	動させ、さらに入居される方のさまざまな事情に対し、	
			随時対応させていただくことで、移住定住の促進を図り	
			ます。	
	若い人たちを地域で支えていき	□可 能	中島地区まちづくり協議会では、地域課題の解決や地	市民参画まちづくり課
	たいが交流がない。移住してきた	□対応済	域の魅力を伸ばすため、さまざま協議を行い取り組む中	網矢 宏明
	若い人と島の人が一緒に取り組む	□今年度中	で、「トレッキングコースの整備」など移住してきた方々	089-948-6963
	活動について助成をしてほしい。	□次年度以降	との取組実績があります。	
11		□検討中	ご提案の次世代の担い手である若い人たちとの交流に	
11		□不可能	ついても、地域の皆さんで協議していただき、積極的に	
		■その他	交流を図ることで、地域の活性化につなげていただきた	
			いと考えています。今後も本市では、まちづくり協議会	
			に対して、交付金などの財政支援や定例会への参加など	
			の人的支援を継続していきます。	

	中島本島以外の6つの島のう	■可 能	現在、松山市では松山市高齢クラブ連合会と連携し、	高齢福祉課
	ち、5つの島で老人クラブが結成	■対応済	│ │高齢クラブの活動状況や取組等を紹介するとともに、地	橋口 徳則
	されていない。各島のコミュニテ	□今年度中	│ │域を訪問して意見交換を行うなど、高齢クラブ活動の推	089-948-6410
	ィを良くして安全で楽しい島にす	□次年度以降	進と活性化を図っています。	
	るために、老人クラブが結成され	□検討中	クラブの設置や加入は任意であり、強制するものでは	
	るように行政から推進していただ	□不可能	ありませんが、高齢者の生活を豊かなものにするため、	
	きたい。	■その他	今後もクラブ活動の活性化や未結成の地域への支援とし	
1.0			て、引き続き運営事業補助金の交付や松山市高齢クラブ	
12			連合会と連携し、活動相談への対応等に取り組んでいき	
			たいと考えています。	
			〇高齢クラブ運営事業補助金	
			・会員数 30 名未満のクラブ 36,000円	
			· 会員数 30 名以上 50 名未満 48,000 円	
			· 会員数 50 名以上 70 名未満 60,000 円	
			・会員数 70 名以上 100 名未満 72,000 円	
			・会員数 100 名以上のクラブ 84,000 円	
	睦月は高齢化率が高く行政連絡	□可 能	「行政連絡員制度」は、中島本島以外の6地区の方々	市民課
	員が市役所への申請や届出を代行	□対応済	の住民サービスを低下させないために導入した制度で、	三谷 二三夫
	しているが、負担が増大してきて	□今年度中	近年、高齢化が進んだことでますます行政連絡員の果た	089-948-6922
13	いるので、職員の派遣や行政連絡	□次年度以降	す役割も増え、この制度の存在意義も増しています。	
	員の報酬について考えていただき	■検討中	今後もこの制度を継続し、行政連絡員の報酬について	
	たい。	□不可能	は、適正な金額となるよう見直しを検討しています。	
		□その他		

	1	T		
	中島は後継者難なので、都会か	■可 能	現在、市外から中島地区に移住された方で「青年就農	農林水産課
	ら農業をしたいという方がいれ	■対応済	給付金」制度を利用して、農業を始めた方がいらっしゃ	丹生谷 和敬
	ば、紹介してもらって継いでいた	□今年度中	いますが、地域農業や農地を守り、次代を担う農業者を	089-948-6566
	だき、中島の農業を守っていきた	□次年度以降	確保するためには、新規就農者の収入の安定を図ること	
	V,	■検討中	が大事であると考え、さまざまな就農支援の取り組みを	
		□不可能	行っています。	
		□その他	<青年就農給付金制度>	
			45 歳未満の新規就農者に対し、認定新規就農者の認定	
14			を受けるなど一定条件を満たした方に、年間最大 150 万	
			円を最長5年間給付するもの。	
			後継者を探している方の情報を収集し、希望に応じて	坂の上の雲まちづくり
			下記の情報発信を検討します。	担当部長付
			①アイランダーや移住フェアなど、島暮らし・田舎暮ら	渡辺 亮
			しに関心のある人が集まるイベントでの告知	089-948-6816
			②「里島めぐり」や、今年度設置する「里島空き家バン	
			ク」のホームページで就労に関する情報を発信	